

夢を思い続け、諦めない大切さを
子どもたちに伝えたい

山梨クイーンビーズ
バスケットボールクラブ選手

横田 はつきさん



大好きな山梨で
バスケットボール選手と
小学校教諭として過ごす毎日

小学校の卒業文集に「プロスポーツ選手か小学校の先生になりたい」という将来の夢を書いた横田さん。その二つの夢をかなえ、現在、山梨クイーンビーズの選手として、そして山中湖村立山中小学校教諭として、充実した日々を送っています。

「小学4年生の時の担任が、運動が得意な子も苦手な子も、誰もが楽しめる体育を教えてくださいました。その経験から、私も運動の楽しさを教えられる先生になりたいと思うようになったんです。スポーツとの出会いは、小学生のころの野球や陸上競技。その後、姉の影響を受け中学生からはバスケットボールを始めました。これが今の私の原点です」

東京学芸大学での経験を経て教員採用試験に合格し、山梨に戻った横田さん。地元のクラブチームでプレーしていたころ、山梨クイーンビーズの監督から声を掛けられ、もう一つの夢もかきました。「教員とバスケットボール選手を両立するためにオンオフの切り替えをしっかり行うようにしています。時にはつらいこともありすが、教壇に立つて子どもたちの無邪気な笑

顔を見ると、頑張る力が湧いてきます。子どもたち、そして切磋琢磨できるチームメイトや応援してくれる職場の方々には本当に感謝しています」

バスケットボールを通して
伝えたい思い

現在、中学時代から憧れていた山梨クイーンビーズで、活躍している横田さん。今度は、自分が子どもたちに目指してもらいたいようなプレーを見せたいと、練習に励んでいるそうです。「バスケットの魅力は、一つのボールにいろいろな思いが詰まっているところなんです。一本のシュートが決まるまでには、プレーヤーだけでなく、チームの仲間、監督、ファンの方、たくさんの方の思いが詰まっています。そんな目に見えないバスケットの魅力も伝えていければと思います。また、教師として、教え子たちに『この先生に出会えて良かった』と思ってもらいたいようになります」

「夢をかなえるために大切な事は、目標を持つたら、頭で考えるのではなく心で強く想うこと。そしてそれを諦めないこと。このことを子どもたちにも伝えていきたい」と話す横田さんの澄んだ瞳には、強い信念と、子どもたちへの思いが輝いていました。



山梨クイーンビーズは今年度、関東実業団リーグで優勝。来年度からは日本の最高峰リーグであるWリーグへの復帰が決定。日々、Wリーグでの飛躍を目指し、練習を重ねている

「瞬を大切にきらめくやまなしのシュン！」